



## どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減し、社会経済の壊滅的な被害を回避するため

### 堤防の整備や川の土砂を掘削することで、流せる水の量を増やします

### 地元の声

- ・洪水の時に不安なので、堤防の高さが足りないところは高くしてほしい。(地元住民)
- ・川に堆積している土砂より、水がせき上げられ、氾濫する危険が高まっているのではないか。(地元住民)

#### 事業前

- ◆ 堤防がない又は低いため、大雨の時は河川氾濫により浸水するリスクが高い状況です。



令和元年東日本台風前

令和元年東日本台風直後

事業前の状況

#### 事業後

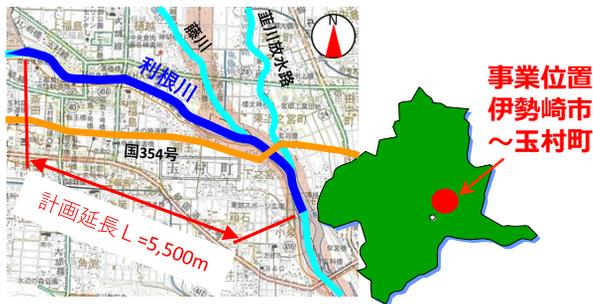
- ◆ 堤防を整備するとともに、河川内の土砂を撤去することで、下流へ安全に流せる水の量を増やし、河川氾濫による浸水リスクを軽減させます。



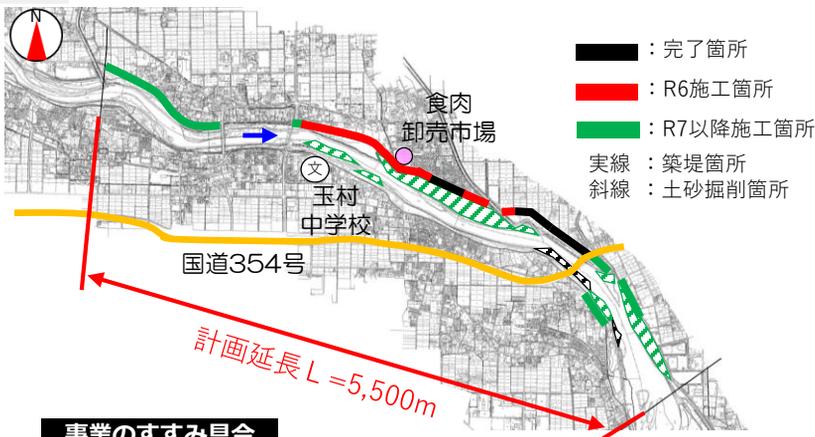
事業後のイメージ

#### 事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市柴町～玉村町上福島
- 事業内容：堤防整備（高上げ・新設）及び河川内の土砂掘削 延長 5,500m
- 事業期間：平成27年度～



## 事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



#### 事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

#### 今、何をしているか

令和6年度は、堤防を整備する工事、文化財調査、詳細設計を実施します。

